かたの市議会だより

2018/12/1　第190号

みんなで守る！ 地域のくらし

就任のごあいさつ

議長　友井　健二

第４回議会定例会において、議長に就任いたしました。はじめに、この夏の災害で被害に遭われた方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。今、交野市には、公共施設等再配置、学校規模の適正化、星田北エリアのまちづくり、防災・減災など差し迫った重要な課題・取組が山積しています。議会としても議会力アップに努め、「市民に開かれた議会」として、行政と共に取り組んで参ります。

写真：地域における防災訓練の様子（郡津地区）

目次

2　議会のあらまし
3－7　一般質問
5　災害発生時対応要領を策定しました！
6－7　重点テーマに係る所管事務調査について〈後編〉
8－9　議会で決めたこと
10　閉会中の主な委員会等活動

■かたの市議会だより　編集＝広報委員会　発行＝交野市議会
〒576-8501　大阪府交野市私部１丁目１番１号　TEL 072-892-0121　FAX 072-893-1130
ホームページ　http://katano.gsl-service.net/　メールアドレス　gikai@city.katano.osaka.jp

インターネット議会中継はこちら
（QRコード）

平成30年 第４回議会（定例会）が開かれました

今議会は、10月1日から10月31日の31日間を会期として開かれました。

初日の議長選挙を皮切りに、副議長、監査委員（議会選出）、各委員会委員、派遣議員などを選出し、10月3日には新体制（下表）での運営がスタートしました。

3日から本格的な議案審査が始まり、4件の報告を受けた後、2件の人事案件に同意し、「30年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）」を可決しました。

次に、「専決処分事項報告（30年度一般会計補正予算（第3号））」他4議案を総務文教常任委員会に、「29年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定」他6議案を都市環境福祉常任委員会に付託しました。

15、16、18日には、市政全般に対する一般質問（3～7ページ参照）を行い、18日の一般質問終了後、1件の専決処分事項報告を受けました。

最終日10月31日は、2常任委員会の各委員長から付託案件の審査報告が行われた後、2常任委員会に付託されていた議案のうち、6決算を閉会中の継続審査とし、その他すべての議案を承認、認定又は可決しました。最後に意見書4本を可決した後、「議員の派遣」並びに議会運営委員会及び2常任委員会の「所管事務調査」を決定し、今議会は閉会しました。

（会議の結果は8～9ページをご覧ください。）

■議会役員と各委員会委員

議　長：友井　健二　　**副議長**：雨田　賢　　**監査委員（議会選出）**：岡田　伴昌

委員会名	委員長	副委員長	委　員
議会運営委員会	野口　陽輔	片岡　弘子	皿海　ふみ・三浦美代子・岡田　伴昌
総務文教常任委員会	新　雅人	岡田　伴昌	中上さち子・皿海　ふみ・三浦美代子・雨田　賢 久保田　哲
都市環境福祉常任委員会	片岡　弘子	松村　紘子	藤田　茉里・前波　艶子・黒瀬　雄大・野口　陽輔 友井　健二

■議会選出の派遣議員・委員

四條畷市交野市清掃施設組合議会議員	中上さち子・藤田　茉里・新　雅人・三浦美代子・黒瀬　雄大 久保田　哲
北河内４市リサイクル施設組合議会議員	前波　艶子・松村　紘子
東部大阪治水対策促進議会協議会委員	皿海　ふみ・片岡　弘子・野口　陽輔
片町線複線化促進期成同盟会委員	三浦美代子・前波　艶子
交野市都市計画審議会委員	藤田　茉里・三浦美代子・松村　紘子・黒瀬　雄大・久保田　哲
交野市基本構想審議会委員	皿海　ふみ・新　雅人・岡田　伴昌・野口　陽輔

※平成30年９月２日付けで、山本　景議員が交野市長選挙に立候補したため、同日付けで、交野市議会議員を辞したものとみなし、議会の議員に欠員が生じましたので、お知らせします。

日本共産党

中上さち子

藤田　茉里

皿海　ふみ

第一中学校区の学校配置について　ほか

問　学校教育審議会は「第一中学校区（2小・1中）の学校配置は交野小と旧給食センター敷地内の小中一貫校が望ましい」と答申。その付帯意見で「グラウンドやプールは小中別々に確保すべき」とあるが、市の考えは、確保は可能なのか。

答　グラウンド等の必要な機能の確保は検討したい。

意見　別々に確保すれば校舎や体育館用地の確保は難しい。3校の教育環境が現行より良くなることが考えられない狭い敷地での一貫校設置にメリットはない。

問　2校廃校に伴う「防災機能の確保が必要」との意見も審議会で付されたが。

答　避難所機能の確保は関係部署と協議していく。

意見　防災拠点でもある学校の廃校について地元の意見を反映しないまま市が進めるのは問題。統廃合は見直しすべきである。

交野小学校

職員の体制について

問　災害時、市職員は被害の復旧、避難所の運営、り災証明書の発行など多くの役割がある。職員数は、昨年度の526名から今年度は9名減っているが、今後の職員数の計画は。

答　職員の定数管理計画では、平成30年度の517名から、民間委託により35年度に509名にする目標である。

意見　災害があいつぐなか、市職員の削減を続けるのではなく、正規職員の増員で災害対応を強化すべき。

通学路の安全対策について

問　通学路にあるブロック塀の安全点検の結果は。

答　危険もしくは建築基準に不適合な可能性がある塀は397ケ所あった。啓発が必要な塀の所有者には啓発文書をポスティングした。

要望　ブロック塀撤去に市は上限10万円を補助しているが、危険な塀の撤去のため、補助の増額を要望する。

公立あまだのみや幼児園民営化にについて

問　移転予定地の森新池周辺は道幅も狭く駅が近いため頻繁に混雑する。そこに工事中は10ｔ車が1日40台往復し、開園後は200名定員規模と交通量は確実に増える。安全性の確保は。

答　周辺道路が混雑しないようデザイン等を配慮し周辺道路の一部拡幅を行う。

意見　拡幅は一部であり、その先は狭いままである。混雑や危険性は高まると考える。

問　森新池は土砂災害警戒区域に引っかかるが、なぜ選んだのか。

答　現敷地内での園舎建替えが困難・現園に近く移転での環境変化が抑えられる・敷地面積が現園より大きく待機児童解消効果が期待できるから。

意見　日本中が大災害に見舞われる中、危険性が言われる場所にあえて公的な施設の幼児園を移転しようとする計画は命に無責任であり計画の変更を求める。

その他の質問

防災について「住宅の一部損壊への支援」「緊急告知ラジオの整備」「避難所の整備」など

会派無所属

前波　艶子

所信表明について――みんなで安全・安心なまちづくりについて

問　市民にとって住み続けたいまちであるためには、災害対策本部である本庁舎が甚大な被害を受けることなく、市民の皆様の復旧支援ができる体制が必要であるとともに今後広く市民の皆様にご利用いただきやすい場でなければならないと思うが。

答　既に防災・地域活動拠点としての庁舎整備に加えて移転整備の必要性といった改善の方向性は示しているが、将来にわたって良質で持続可能な公共サービスを実現するために、市民ワークショップの運営を進めている。また、青年の家を移転建替えの対象に含めているので、利用者の方々の目線に立って少しでも利用しやすい施設となるよう生の声を聞かせていただいている。

市民クラブ

野口　陽輔

久保田　哲

災害対策について　ほか

問　市長は重点的に取り組む施策として、安全・安心なまちづくりを進めると言っておられますが、本年６月の大阪北部地震や台風21号を初め、相次ぐ台風の襲来を踏まえて、どのように取り組もうとされているのか、市長の思いをお聞かせください。

答　このたびの地震や台風での対応を振り返りますと、まず突発型災害である大阪北部地震では、住宅の一部損壊などの被害は生じましたが、人命にかかわる甚大な被害には至りませんでしたので、市が実施すべき優先施策として、通行人への事故対策はもとより、救急車、工事車両などの緊急車両の通行確保が、救命やいち早い復旧につながるとの考えから、個人所有のブロック塀への補助事業を実施したところでございます。また、進行型災害である台風においては、早目の避難情報を出すのは、命の危険という万一の場合を考えてのこと、また行政の取り組みをご理解いただき、空振り覚悟で避難行動をとっていただきたいという思いからであります。今後も起こるであろう想定できないような自然災害への対応は大きな課題であると認識し自助・共助・公助の連携に取り組んでまいります。

本庁のあり方について

問　暮らしの安全・安心を守る拠点として、庁舎整備に本格的に着手していくと述べられておられます。庁舎の役割とは何なのか、庁舎のあり方というものをどのように考えておられるのかをお聞かせください。

答　市役所は行政機能の拠点であり、行政サービスの拠点でありますので、手続や相談に訪れる方々はもちろんのこと、いざというときに必要な機能を発揮する場であることだと思います。特に、熊本地震における庁舎損壊という事例を目の当たりにいたしますと、まさに本庁舎が生命、財産を守る防災マネジメントの拠点として、有事の際には機能を発揮することができることが非常に重要であると痛感したところでございます。また、これからの公共施設には、さまざまな活動をされる団体が、公共スペースを活用して、まちを支えていくことができるように、活動スペースを確保していくことも 重要であると考えております。

交野市役所本館

その他

魅力あるまちづくり、高齢者対策、人材育成・組織力強化について　など

会派無所属

松村　紘子

地震・集中豪雨にかかる対策について

問　防災行政無線が聞こえにくい場合について。

答　フリーダイヤルの周知、ＨＰに文章を公開など様々な手法で対応している。

要望　土砂災害危険地域や高齢者を対象に個別受信機設置等の検討を求める。

問　各避難所の非常用電源装置の設置について。

答　施設管理者の意見を伺い改善に向けて検討する。

問　災害時情報集約のためのＳＮＳ活用について。

答　誤情報の拡散といった危険性もあるが検討したい。

市役所・青年の家・星田出張所の集約化について

問　星田出張所の窓口業務の機能は確保されるのか。

答　庁内関係部局において調整検討している。

要望　大きく関わる地域の声をしっかり聞いてほしい。

その他

中学校へウォータークーラーの設置を要望。

自由民主党

片岡　弘子

雨田　賢

所信表明について――都市計画マスタープランの改定について　ほか

問　公共施設の再配置などの議論が先行して進められており、本市都市計画マスタープランの改定にも影響を及ぼすものと考えますが、どのような方針で改定に取り組まれるのか。

答　星田北エリアのまちづくりや公共施設の老朽化に伴う公共施設の再配置の必要性など、本市を取り巻く都市環境は大きく変化しているため、次回の都市計画マスタープランの策定に当たっては、少子高齢化や人口減少の進展などに加えて、都市機能の集約化などの新たな総合計画を十分踏まえつつ、まちの活力の発展に寄与できるような柔軟な発想による改定に取り組む。

問　星田北エリアのまちづくりや学校規模適正化等に関して、誤解や理解されていない市民へ正しい情報を届け、周知していただければと考えております。そこで、市の重要なプロジェクトをどのように発信していこうとお考えなのか。

答　関係者とも連携し、効果的なツールを活用して発信に努めるとともに、多くの市民の皆様にこの魅力のあるまちづくりについて知っていただくため、今まで と違ったＰＲの仕方も考えてまいりたいと考えているところでございます。

都市計画行政について―星田北２丁目の開発進捗状況について

問　藤が尾小学校の横において、民間による開発事業整備が行われている一部廃止となった都市計画道路をなぞるような道路整備提案がされているが進捗状況をお聞きしたい。

答　事業区域からＪＲのアンダー部を通過し藤が尾の府営住宅につながる南北に通る路線については地区計画を定めた区域外ですが、全体計画の一部として位置づけ整備を行うべく地元住民の方と協議を重ねられていると聞いている。

問　一部廃止による都市計画変更がなされた都市計画道路の線形と類以しており、これから先の星田私市線まで、できるなら国道168号までの延伸を図っていただきたいと要望させていただいた道路の一部となります。市長からのご回答は道路整備の可能性について検討を進めていくと聞いています。現在の進捗状況についてお聞きしたい。

答　今回の民間による区画整理事業に伴う道路整備が計画されております。

この機会を生かし道路整備を実施することで課題、懸案の原因を解消しさらに街のにぎわいの創出にもつながると考える。今後当該路線の道路整備事業の事業計画、整備手法等を検討し、事業推進の判断に際しては関係部署とも連携を図り円滑に事業促進を図ってまいりたいと考えております。

国道168号

災害発生時対応要領を策定しました！

交野市議会では、災害時において迅速かつ適切な対応を行えるよう、災害発生時に市災害対策本部と連携することなどを定めた「交野市議会における災害発生時対応要領」を策定しました（平成30年10月1日施行）。

〈災害発生時対応要領の内容〉

議会災害対策連絡会議の設置
地震等の災害により市災害対策本部が設置された場合において、議長が必要と認めたときに設置します。

議会災害対策連絡会議の構成
議長、副議長、各会派幹事長

議会災害対策連絡会議の任務
・議員の安否確認
・市対策本部からの災害情報を各議員へ情報提供
・各議員からの災害情報を市災害対策本部へ情報提供
・国、府その他関係機関への要望活動
など

公明党

三浦美代子

新　雅人

友井　健二

防災・減災について　ほか

問　風水害のたびに5カ所の避難所を開設されるが、私市小学校は遠く高齢者等に負担ではないか？通学路で使われている通称私市橋は利用できるのか？また、私市山手自治会館、青葉台集会所は使えないのか？

答　通称私市橋は利用できる。また2カ所の避難所は市の指定避難所とするには課題がある。

台風21号による市内の被害状況

問　災害時の避難所ともなる学校の体育館にエアコン設置が必要と考えるがいかがか？

答　非構造部材の耐震化が喫緊の課題であり、現時点では難しいと考える。

問　冷水器の設置についてはいかがか？

答　他市の設置状況や技術的・コスト的課題など情報収集に努めていく。

問　私市山手の避難指示は災害の際、すぐにテレビテロップが出るが今後どうなのか？

答　避難指示は通常の8割の雨量で出している。また、安全対策が不完全である間は、避難指示は出す。

安全なまちづくりについて

問　停電対策として再生可能エネルギーの活用をもっと推進すべきと考えるが？

答　環境基本計画にも太陽光発電の普及促進を掲げており、新しい開発地域には、消費エネルギーゼロを目指す住宅等の導入を開発事業者に働きかけていきたい。

問　空き家の除去補助の予算を増額すべきと考えるがいかがか？

答　本年度の補正予算は難しい。来年度の予算については検討していきたい。

問　防犯灯補助事業について、各区に防犯灯の維持管理をして頂いているが、区入りしていない地域の中で一部防犯灯に電気が通っていない所がある。この様な問題を解消するためにも防犯灯の電気料金を市が全額補助できないか？

答　防犯灯は非常に重要と認識している。既存の電気器具にかかる経費や新設にかかる経費も負担となるため総合的に勘案し検討する。

子育て支援について

問　子ども医療費の拡充について強く要望するとともに、待機児童解消のため、保育所の申し込み時期を早めてほしいが？

答　申し込み締切りを11月末に早め、待機児童解消に向けて丁寧に取り組んでいく。

問　児童虐待により幼い命が奪われる事案が全国的に散見される。本市においてこのようなことのないように努めていただきたい。

答　児童福祉法が改正され、家庭総合支援拠点の設置が市に求められており、その設置、組織機構や人員配置、また、関係機関との連携のあり方も含めて検討していく。

活力あるまちづくりについて

問　市の表彰制度を充実すべきと考えるが？

答　体育協会や文化連盟等の関係機関との調整を行い、検討する。

重点テーマに係る所管事務調査について〈後編〉

各常任委員会において、重点テーマを設定し、そのテーマに基づき、概ね1年間の期間を以て所管事務調査を実施しました。

◎平成30年9月27日開催の全員協議会にて調査報告を行いました。

総務文教常任委員会
―小中一貫教育について

※全中学校区実施予定に伴う

【市への提言（抜粋・要約）】

・教職員の事務作業（印刷業務やホームページ更新など）を補助する人員を配置すること

・ＡＬＴ（外国語指導助手）の数を拡充すること

・校区間での学力差が大きくならない仕組みをつくること

大阪維新の会

岡田　伴昌

黒瀬　雄大

市長所信表明について、災害対策について、子どもが元気に成長する環境づくりについて　ほか

大阪維新の会は市長所信表明の中より「環境マネジメントシステムの運用」「再生可能エネルギー」災害対策については「学校での取組について」子どもが元気に成長できる環境づくり・地域振興について一般質問を行いました。詳細は議会のホームページや本議会の録画をご覧ください。

環境マネジメントシステムの運用について

問　交野市におけるシステム運用とは。

答　全職員が問題を自覚し、環境への負担を最小限に抑える、今後は市民のみなさまとも共有して運用を行って行きたい。

再生可能エネルギーについて

問　市内における太陽光パネルの設置状況は。

答　公共施設などで7か所、一般家庭においても北河内では高い設置状況。市民の関心も高いと言える。

第四中学校のソーラーパネル

人口動態について

問　昨年、交野市は転入超過と聞いている、その根拠と要因はどのように分析しているのか。

答　根拠は総務省統計局の示した平成29年の住民基本台帳人口移動報告。要因は子育ての地としての転入の傾向が伺える。

要望　人口ビジョンの見直しをし、まち・人・仕事創生総合戦略の策定を検討していただきたい。

問　職員力・組織力の強化について、人材育成基本方針を30年度に改定されるとのこと。進捗状況と今後の進め方について伺う。

答　現在、改定素案まで進んでいる。見直しについては内部の検討委員会において、主に30代の職員を中心に意見を求めながら全庁的な意見を集約し策定する予定。

災害対策について

問　他市において水道管の破断により甚大な被害が出た。市内の水道管の老朽管率はどのような状況か、また今後の対策は。

答　老朽管は法廷耐用年数40年を超えた管路。市内においては31%。平成13年より第6次拡張事業に続き、施設整備計画を策定中。計画的に耐震化を進めて行く。

問　災害における学校での生徒、保護者への情報発信、共有の方法について。

答　予測できる場合は文書の配布、臨時の場合にはメール配信、また各校のHPにも掲載している。

要望　情報拡散の早いツイッターなどSNSの活用を検討いただきたい。

登下校メールの導入について

問　以前より伺っているが、市内小学校への登下校メールの進捗状況は。

答　小学校2校でPTAが導入に向け検討、1校区において導入に向け課題整理を行っている、市としても導入に向け環境整備を進める。

その他の質問

企業誘致について・公立幼稚園再配置について・避難所へのペットの同伴について・マルシェでのペット譲渡会の開催は・他

都市環境福祉常任委員会
――公共交通のあり方について

※バス路線廃止等申入れに伴う

【市への提言（抜粋・要約）】

・バス事業者との話し合いの場を設け、しっかり議論すること

・民間事業者と行政とがすみ分けできる仕組みを検討すること

・時間的余裕がないため、これまで以上に迅速な対応をすること

◎報告内容を踏まえ、副市長より今後の展望等について発言がありました。

案件名		概要	委員会結果	本会議結果
	議席の変更	－	－	決定
報９号	平成29年度交野市健全化判断比率の報告	実質赤字額なし、連結実施赤字額なし、実質公債費比率11.9%、将来負担比率121.6%	－	報告
報10号	平成29年度交野市下水道事業特別会計資金不足比率の報告	資金余剰額が生じることにより資金不足がなく、資金不足比率なし	－	報告
報11号	平成29年度交野市水道事業会計資金不足比率の報告	資金余剰額が生じることにより資金不足がなく、資金不足比率なし	－	報告
報12号	専決処分事項報告（和解及び損害賠償の額の決定）	廃プラごみ収集中に塵芥車左後部が相手方所有の建物門扉に接触し破損させた件における示談成立	－	報告
議51号	副市長の選任	任期満了に伴う「奥野一志」氏の再任	－	同意◎
議52号	教育委員会委員の任命	任期満了に伴う「大平香寿美」氏の再任	－	同意◎
議64号	平成30年度交野市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	特定健診事業に係る債務負担2,071万８千円（平成31年度まで）	－	可決◎
議員９号	交野市議会基本条例の一部を改正する条例	議会報告会等の開催により市民等への議会活動の報告及び市民等との意見交換を必要に応じて行うことに伴う所要の改正	－	可決◎
報13号	専決処分事項報告（和解及び損害賠償の額の決定）	公用車が歩道上を自転車で走行していた相手方に接触し負傷させた件における示談成立	－	報告
議員10号	児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書の提出	児童虐待防止対策のさらなる強化のための「児童相談所強化プラン」の拡充及び地方交付税措置を含めた必要財源を速やかに講ずること等	－	可決◎
議員11号	水道施設の戦略的な老朽化対策を求める意見書の提出	将来にわたり安全な水の安定供給を維持していくための広域連携の推進や適切な資産管理の推進、官民連携の推進等具体的な措置を講じること等	－	可決○
議員12号	国に対し、大阪府北部地震や台風21号の被災者への支援を求める意見書の提出	住宅の一部損壊を「被災者生活再建支援法」の適用対象とすること	－	可決◎
議員13号	大阪府の木造住宅耐震改修補助制度の拡充を求める意見書の提出	新耐震基準で建築された住宅及び簡易な耐震改修工事を大阪府の木造住宅耐震改修補助制度の補助対象へと拡充すること等	－	可決○
	議員の派遣	副議長の職にある議員の派遣ほか	－	決定
	議会運営委員会の所管事務調査	閉会中の継続調査の申し出	－	決定
	常任委員会の所管事務調査	閉会中の継続調査の申し出	－	決定

※議は議案、選は選挙、報は報告、議員は議員提出議案です。
※◎は満場一致、○は賛成多数です。

賛否の分かれた案件の議決結果	賛否の状況（○賛成　×反対）													
	共産			公明		無所属		維新		自民		市民		公明
案件名	中上	藤田	皿海	新	三浦	前波	松村	岡田	黒瀬	片岡	雨田	久保田	野口	友井
（議員提出議案第11号）水道施設の戦略的な老朽化対策を求める意見書の提出	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	※2
（議員提出議案第13号）大阪府の木造住宅耐震改修補助制度の拡充を求める意見書の提出	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	

※共産は日本共産党、公明は公明党、無所属は会派無所属、維新は大阪維新の会、自民は自由民主党、市民は市民クラブです。
※2 友井議員は議長として立場上、採決には参加していません。

平成30年第４回議会定例会（10月１日～10月31日）

総務文教常任委員会に付託した議案

案件名		概要	委員会結果	本会議結果
議53号	専決処分事項報告（平成30年度交野市一般会計補正予算（第３号））	歳入歳出それぞれ7,497万７千円（災害復旧工事請負費ほか）の増額補正	承認◎	承認◎
議54号	平成29年度交野市一般会計歳入歳出決算認定	歳入総額240億8,695万５千円、歳出総額237億3,361万２千円	継続	継続
議58号	平成29年度交野市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定	歳入総額５億2,482万８千円、歳出総額５億2,482万８千円	継続	継続
議61号	交野市庁舎整備基本構想策定委員会条例の制定	「庁舎整備基本構想」の策定に関し調査審議するための附属機関の設置	可決◎	可決◎
議63号	平成30年度交野市一般会計補正予算（第４号）	歳入歳出それぞれ3,291万６千円（ブロック塀等撤去・改修促進補助金ほか）の増額補正及び債務負担行為の追加	可決◎	可決◎

都市環境福祉常任委員会に付託した議案

案件名		概要	委員会結果	本会議結果
議55号	平成29年度交野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	歳入総額99億709万６千円、歳出総額94億2,900万円	継続	継続
議56号	平成29年度交野市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	歳入総額16億4,760万４千円、歳出総額15億5,153万３千円	継続	継続
議57号	平成29年度交野市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	歳入総額56億8,043万７千円、歳出総額54億4,727万２千円	継続	継続
議59号	平成29年度交野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	歳入総額12億2,915万２千円、歳出総額11億8,809万３千円	継続	継続
議60号	平成29年度交野市水道事業会計決算認定	総事業収益13億4,838万３千円、事業費用13億5,656万８千円、純損失818万５千円	認定◎	認定◎
議62号	和解及び損害賠償の額の決定	公用車が歩道上を歩行していた相手方に衝突し骨折等の重傷及び後遺障害を負わせた件における和解及び損害賠償額の決定	可決◎	可決◎
議65号	平成30年度交野市下水道事業特別会計補正予算（第１号）	歳入歳出それぞれ113万１千円（流域下水道建設費負担金）の増額補正及び地方債（流域下水道事業債）の変更	可決◎	可決◎

その他の議案

案件名		概要	委員会結果	本会議結果
選１号	交野市議会議長の選挙	－	－	当選
選２号	交野市議会副議長の選挙	－	－	当選
議66号	監査委員の選任	「岡田伴昌」氏の選任	－	同意◎
	交野市議会運営委員会委員の選任	－	－	選任
	交野市議会常任委員会委員の選任	－	－	選任
選３号	北河内４市リサイクル施設組合議会議員の選挙	－	－	当選
選４号	四條畷市交野市清掃施設組合議会議員の選挙	－	－	当選
	議会選出の派遣委員の選任	－	－	選任

総務文教常任委員会

小中一貫教育について

7月9日、8月22日、9月11日開催

都市環境福祉常任委員会

・公共交通のあり方について
・交野市水道ビジョンについて

7月20日、9月12日開催

全員協議会

・平成30年大阪府北部を震源とする地震にかかる被害状況及び対応について
・常任委員会所管事務調査報告について　ほか

7月11日、9月12、27日開催

議会改革委員会

・委員会の活性化と専決処分について
・議会における災害発生時対応について
・議員報酬等について　ほか

7月19日、8月20日、9月11日開催

広報委員会

「議会だより」の編集について　ほか

7月12日開催

トピックス

<8月17日>

京都府舞鶴市議会に視察に行きました。
（テーマ：舞鶴市議会における災害対応について）

平成30年第５回議会定例会の予定
～議会の傍聴にお越しください～

11月28日（水）　本会議（議案上程・採決）
12月６日（木）、７日（金）、10日（月）　本会議（一般質問）
12月12日（水）　総務文教常任委員会
12月13日（木）　都市環境福祉常任委員会
12月21日（金）　本会議最終日（委員長報告・採決）
※掲載している議会日程はあくまでも予定であり、変更の可能性があります。